

異文化研究 F 開講

タイ北部の観光資源をさぐる + 変貌するバンコクを歩く

時 期：2017年2月15日～2月27日

実施場所：タイ・パヤオ大学 および バンコク

内 容：日本人にはなじみのないタイ北部の町パヤオ。この地の魅力を日本人に伝えるために、パヤオ大学で日本語を学習している大学と一緒にフィールドワークを行い、ガイドブックに掲載してもらえそうな記事を作る。滞在中はゴールドトライアングルなど北部タイの観光事情についても視察を行う予定。一方、バンコクでは国際旅行博を訪問すると同時に、変貌を遂げる街区を視察。旅行ガイドにはでていないバンコクをアーバンデザインの観点から観察する。

認定単位：2単位

*事前学習および事後研修報告会を行う（参加義務）

引 率：担当教員またはパヤオ大学の日本人教員がサポートする。

参加費用：127,000円程度

*治安の悪化、感染症の蔓延の危険性が出た場合は、中止することがある。

募集人員：15名（15名に達した時点で締め切る）

申し込み：11月30日（水）国際交流センター・HPから申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、提出。

説明会：11月10日（木）12：30～13：00 あすなろ2階会議室

11月17日（木）12：30～13：00 あすなろ2階会議室

その後は個別に対応するのでメールにて山川まで連絡すること。

問合せ：外国語学部・山川和彦 kyamakaw@reitaku-u.ac.jp

オフィスアワー 火水木 12：10～13：00 研究棟A 2階

左下：タイ、ラオス、ミャンマーの国境ゴールドトライアングル 右下：パヤオ市内（普通にト鉢がなされるようなタイの地方都市



<日程案>

- 2月15日 朝 成田または羽田発バンコクへ
*タイ国際航空を想定しているが、ANAでもJALあるいはLCCを使用してもよい。ただし現地集合時間厳守。
- 2月16日 公共交通機関を使いながらバンコクの町を見る。喪に服す王宮周辺も訪問。観光ガイドブックでは得られない再開発が進むバンコク。変革と文化のバランスがキーワード。
*事前に分担して担当者がガイドになる。場合によってはバンコクで学ぶ学生とも合流。
- 2月17日 午前中 タイ国際旅行博見学、午後 自由行動。
*旅行博には千葉県をはじめ多くに自治体・企業が出展、日本紹介を行う。タイでの日本人気を視察する。
- 2月18日 朝 飛行機でチェンライへ。着後、パヤオ大学チェンライキャンパスへ。チェンライ市内の観光資源を視察。
- 2月19日 タイ・ミャンマー国境地域の視察。
- 2月20日 朝 パヤオへ移動、パヤオ市内の視察。パヤオ大学で日本語を学ぶ学生と協働して、パヤオの魅力をリサーチ、まとめる。
- 2月24日 午後 パヤオからチェンマイに移動。
- 2月25日 チェンマイ市内の観光資源視察+ (タイ人学生の日本語スピコン見学)。
- 2月26日 夜 チェンマイ発バンコク経由東京へ
*離団してタイ他を旅行することができる (計画書提出必要)
- 2月27日 早朝 成田または羽田着

<費用概算> (10人程度の参加を想定、昨年度の場合) 127,000円程度

航空運賃	60,000円 (タイ国際航空使用時、荷物20Kg) 8,000円 (タイ国内線・LCC使用) *荷物別!
宿泊費	10,000円 (バンコク、3泊で二人部屋)
滞在費	15,000円 (バンコク市内移動、食費) 30,000円 (パヤオ宿泊、移動、食費)
保険	4,000円 (Web契約料金)

*負担金額を少なくするために飛行機の予約などは指示にしたがい、各自が行う。

左：タイ人学生と共同してプレゼンの用意。 右：バンコク旅行博（千葉県ブース）

